特許協力条約



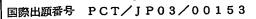
国際予備審査報告

REC'D 0 3 OCT 2003
WIPO PCT

(法第12条、法施行規則第56条) (PCT36条及びPCT規則70)

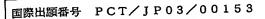
	Web DOT					
出願人又は代理人 の 啓類記号 2002-080629	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP03/00153	国際出願日 (日.月.年) 10.01.03 (日.月.年) 22.03.02					
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 7 C07F9/50, C07C45/50, 47/02, B01J31/24 // C07F15/00						
出願人(氏名又は名称)	株式会社クラレ					
1. 国際予備審査機関が作成したこの	国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。					
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3 ページからなる。						
□ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審						
直機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)						
この附属書類は、全部で	ページである。					
3. この国際予備審査報告は、次の内	 容を含む。					
I X 国際予備審査報告の基礎						
п						
Ⅲ Ⅲ 新規性、進歩性又は産	業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成					
IV 開発明の単一性の欠如						
	とする新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるため					
の文献及び説明 VI D ある種の引用文献						
VII 国際出願の不備						
□ 国際出願に対する意見						
·						
·						
	国際予備審査報告を作成した日					
国際予備審査の請求審を受理した日 29.07.03	国际了拥在五种日を1FM 07C日 09.03					
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員) 4 H 9049					
日本国特許庁(IPEA/J	P) 本堂裕司 印 和					
郵便番号100-891 東京都千代田区霞が関三丁目	4番3号					
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	電話番号 03-3581-1101 内線 3443					





I. 国際予	備審査報告の基礎	•					
1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。 PCT規則70.16,70.17)							
	時の国際出願書類		•				
明細報 明細報	事 第	ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求╋と共 付	に提出されたもの の書簡と共に提出されたもの			
請求 請求	の範囲 第 の範囲 第 の範囲 第 の範囲 第	項、 項、 項、 項、 項、	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づ 国際予備審査の請求啓と共 	き補正されたもの に提出されたもの の 啓簡と共に提出されたもの			
面図 回 図面 図面	第	ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共 付	に提出されたもの の 書簡と共に提出されたもの			
明細	書の配列表の部分 第 書の配列表の部分 第 書の配列表の部分 第	ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求番と共 	に提出されたもの の			
2. 上記の	出願書類の言語は、下記	に示す場合を除くほか、こ	の国際出願の言語である。				
上記の	魯類は、下記の言語であ	る 語であ	る。				
□ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語 □ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語 □ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語							
3. この国	際出願は、ヌクレオチド	又はアミノ酸配列を含んで	おり、次の配列表に基づき国	際予備審査報告を行った。			
□ この国際出願に含まれる書面による配列表 □ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された啓面による配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述 書の提出があった □ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出 があった。							
□ 明斜	マスプログラス 第	ページ 項	- <i>ジ</i> /図	·			
5. この国際予備審査報告は、補充概に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1. における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)							
	·						





v.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能 文献及び説明	性についての法第12条(PCT	3 5条(2)) に定める見解、そ: 	れを 扱 付ける
1.	見解			
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1~26	有 無
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1~26	
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1~26	

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲1~10に記載された特定のビスホスフィン及びその製造方法は、国際 調査報告で引用された文献又は当該発明に関連があると認められるいずれの文献にも 記載されておらず、かつ、当業者にとって自明なものでもない。

請求の範囲11~26に記載された特定の金属錯体及びその触媒用途は、国際調査報告で引用された文献又は当該発明に関連があると認められるいずれの文献にも記載されておらず、かつ、当業者にとって自明なものでもない。